

令和7年度生研支援センター調査報告書（研究開発構想） 「農林水産・食料分野における微生物活用技術の研究開発」

1. 微生物が変える「農」「食」「産業」の未来

生研支援センターでは、微生物の力を活用した農林水産・食料分野の未来について、国内外の研究動向を調査し、今後の研究開発の方向性を取りまとめました。

農林水産業の生産性向上、微生物を活用した食料生産技術、微生物の産業活用に向けて、以下6つの重点研究テーマを提案しています。

2. 6つの重点研究テーマ

① 肥料・農薬・バイオスティミュラント・人工土壌の生産技術開発

・微生物の力を活用して、肥料や農薬を減らしながら作物を元気に育てる技術を開発します。環境負荷を抑えつつ、安定した食料生産の実現を目指します。

② 畜産分野における飼料・餌料等（添加物を含む）の生産技術開発

・微生物を活用して牛や豚、鶏の健康維持を支援し、持続可能な畜産を実現するため、家畜の生産性向上と環境負荷の低減のための生産技術開発を目指します。

③ 水産分野における飼料・餌料等（添加物を含む）の生産技術開発

・微生物由来の新しい飼料や餌料を活用し、魚の成長を支えます。天然資源への依存を減らし、安定した水産物供給のための生産技術開発を目指します。

④ 伝統発酵による高付加価値食料生産技術開発

・味噌、醤油、日本酒など、日本が培ってきた発酵技術をさらに進化させます。おいしさと健康を両立した新たな食品づくりを目指します。

⑤ 微生物による食料生産技術開発（伝統発酵以外）

・微生物を利用してタンパク質などの食品原料を生産する技術を開発します。食料不足への対応や環境負荷の低減につながる次世代の食料生産を目指します。

⑥ 微生物を産業として活用することに資する研究開発

・有用な微生物を探し出し、効率よく活用する技術を開発します。これにより日本発のバイオ産業の発展や新たなビジネス創出につなげます。

【お問い合わせ先】

生物系特定産業技術研究支援センター（略称：生研支援センター）

所在地：〒210-0005

神奈川県川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビルディング16階

電話：050-1729-8287

https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/contents/research_information/info_gathering_analysis/r7_rd_concept_movie.html

一般の方向け
説明動画はこちら

